

## 平成21年11月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年10月5日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ティムコ

コード番号 7501 URL <http://www.tiemco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 霜田 俊憲

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 中山 芳忠

四半期報告書提出予定日 平成21年10月14日

TEL 03-5600-0122

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年11月期第3四半期の業績(平成20年12月1日～平成21年8月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年11月期第3四半期	2,032	—	26	—	37	—	23	—
20年11月期第3四半期	2,322	0.7	97	489.7	116	182.0	57	692.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年11月期第3四半期	8.33	—
20年11月期第3四半期	17.32	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年11月期第3四半期	8,088	6,964	86.1	2,469.62
20年11月期	8,125	6,998	86.1	2,481.77

(参考) 自己資本 21年11月期第3四半期 6,964百万円 20年11月期 6,998百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年11月期	—	0.00	—	22.50	22.50
21年11月期	—	0.00	—		
21年11月期(予想)				22.50	22.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年11月期の業績予想(平成20年12月1日～平成21年11月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,750	△9.1	43	△59.7	57	△54.4	37	△9.7	13.19

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年11月期第3四半期 3,339,995株 20年11月期 3,339,995株

② 期末自己株式数 21年11月期第3四半期 520,061株 20年11月期 520,001株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年11月期第3四半期 2,819,950株 20年11月期第3四半期 3,339,994株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は4ページ【定性的情報・財務諸表等】3.業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計審議会第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## ・定性的情報・財務諸表等

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)における日本経済は、アジアを中心とした経済回復や政府による景気刺激策等の影響により一部回復の兆しが見られたものの、雇用情勢や個人消費には目に見えた改善がみられず、概して低調に推移いたしました。アウトドア関連産業においても、こうした個人消費低迷の煽りを受け、高額品を中心に低調に推移する展開となりました。このような状況の中、当社では、売上規模の拡大よりも利益体質を強化することに努め、営業活動を続けてまいりましたが、消費低迷の影響により販売は苦戦いたしました。その結果、当第3四半期累計期間の売上高は20億32百万円、営業利益は26百万円、経常利益は37百万円、四半期純利益は23百万円となりました。

## &lt;フィッシング用品&gt;

フィッシング用品に関しては、「オーシャンドミネーター」や「ガイナ」、「アオリーQゼット」等のソルト関連用品が堅調に推移したものの、フィッシング用品全般の低迷を補うには至りませんでした。その一方で、従来アウトドア用品として計上していた偏光サングラスやルアーフィッシング用衣料を、第1四半期会計期間からフィッシング用品として計上していることによる増加要素1億70百万円が影響し、フィッシング用品の売上高は10億23百万円となりました。

## &lt;アウトドア用品&gt;

アウトドア用品に関しては、バッグ・ザック類等のアクセサリ類のほか、夏季シーズンにおける富士登山を中心とした夏山需要に関連した商品が堅調に推移しましたが、ジャケット類等の高額品衣料の低迷をカバーするには至りませんでした。さらに、従来アウトドア用品として計上していた偏光サングラスやルアーフィッシング用衣料を、第1四半期会計期間からフィッシング用品に移動したことによる減少要素1億70百万円も影響し、アウトドア用品の売上高は、9億93百万円となりました。

## &lt;その他&gt;

その他の主な内容は、損害保険代理業の手数料収入ならびに不動産賃貸収入売上であります。当第3四半期累計期間に関しては、大きな変動要素はなく、その他売上高は16百万円となりました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

## (1)資産、負債、純資産の状況

## ①資産

当第3四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ36百万円減少し80億88百万円となりました。

流動資産は、季節的な影響による商品棚卸高の増加などにより、前事業年度末に比べ1億63百万円増加し、45億76百万円となりました。

固定資産は、前事業年度末に投資その他の資産に計上していた投資有価証券が、流動資産の有価証券へ振替えられた事などにより、前事業年度末に比べ2億円減少し35億12百万円となりました。

## ②負債

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ2百万円減少し11億24百万円となりました。

流動負債は、季節的な影響による支払手形及び買掛金が増加する一方、未払金、未払法人税等、未払費用などの未払債務の減少により、前事業年度末に比べ70百万円減少し6億8百万円となりました。

固定負債は、長期リース債務が今年度より発生(リース取引に関する会計基準の適用による)した事などにより、前事業年度末に比べ68百万円増加し5億16百万円となりました。

## ③純資産

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ34百万円減少し69億64百万円となりました。これは主に、四半期純利益23百万円の発生的一方、前事業年度決算の配当支出による利益剰余金の減少63百万円によるものです。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ20百万円減少し、8億6百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、1億31百万円となりました。これは主に、売上債権減少1億67百万円などによる資金の増加の一方、たな卸資産の増加3億2百万円などの資金の減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、1億86百万円となりました。これは主に、定期預金の組替えによる差額収入20百万円と有価証券の償還と取得による差額収入1億50百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、75百万円となりました。これは主に、前事業年度決算の剰余金処分の配当支出62百万円、リース債務の返済による支出12百万円によるものです。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成21年7月6日発表の「平成21年11月期 第2四半期決算短信（非連結）」に記載の業績予想に変更はありません。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況について著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測等を利用する方法によっております。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は、それぞれ9,926千円減少しております。

③ 第1四半期会計期間から「リース取引に関する会計基準」（企業会計審議会第一部会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（日本公認会計士協会 会計制度委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号）を早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。この変更による損益に与える影響はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,644,154	1,686,231
受取手形及び売掛金	408,505	576,280
有価証券	1,356,352	1,285,505
商品	1,090,995	787,523
その他	77,513	79,002
貸倒引当金	△1,211	△1,700
流動資産合計	4,576,310	4,412,842
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	887,955	926,463
土地	2,011,097	2,011,097
その他（純額）	43,939	34,860
有形固定資産合計	2,942,992	2,972,421
無形固定資産	73,169	13,765
投資その他の資産	496,246	726,503
固定資産合計	3,512,408	3,712,689
資産合計	8,088,718	8,125,532
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	479,730	453,372
未払法人税等	5,106	35,169
返品調整引当金	11,940	27,391
賞与引当金	18,151	—
その他	93,438	162,844
流動負債合計	608,367	678,778
固定負債		
退職給付引当金	113,179	113,071
役員退職慰労引当金	339,040	330,145
その他	63,975	4,973
固定負債合計	516,195	448,190
負債合計	1,124,562	1,126,968
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,861,448	3,861,448
利益剰余金	2,309,807	2,349,777
自己株式	△290,193	△290,162
株主資本合計	6,961,061	7,001,062
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,094	△2,498
評価・換算差額等合計	3,094	△2,498
純資産合計	6,964,155	6,998,563
負債純資産合計	8,088,718	8,125,532

(2)【四半期損益計算書】  
【第3四半期累計期間】

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)
売上高	2,032,991
売上原価	1,014,961
売上総利益	1,018,029
返品調整引当金戻入額	27,391
返品調整引当金繰入額	11,940
差引売上総利益	1,033,481
販売費及び一般管理費	1,007,184
営業利益	26,297
営業外収益	
受取利息	15,095
受取配当金	477
その他	1,258
営業外収益合計	16,831
営業外費用	
支払利息	271
為替差損	2,510
投資事業組合運用損	2,927
その他	315
営業外費用合計	6,024
経常利益	37,104
特別利益	
保険解約返戻金	16,203
特別利益合計	16,203
税引前四半期純利益	53,308
法人税、住民税及び事業税	30,757
法人税等調整額	△928
法人税等合計	29,828
四半期純利益	23,480

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	53,308
減価償却費	66,139
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△489
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△15,451
賞与引当金の増減額（△は減少）	18,151
退職給付引当金の増減額（△は減少）	107
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	8,895
受取利息及び受取配当金	△15,572
支払利息	271
為替差損益（△は益）	346
保険解約損益（△は益）	△16,203
売上債権の増減額（△は増加）	167,775
たな卸資産の増減額（△は増加）	△302,536
仕入債務の増減額（△は減少）	26,358
未払消費税等の増減額（△は減少）	△19,860
その他の流動資産の増減額（△は増加）	10,214
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△70,426
その他	3,631
小計	△85,340
利息及び配当金の受取額	15,059
利息の支払額	△271
法人税等の支払額	△60,820
営業活動によるキャッシュ・フロー	△131,372
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△774,200
定期預金の払戻による収入	794,800
有価証券の取得による支出	△420,000
有価証券の償還による収入	570,000
有形固定資産の取得による支出	△13,056
無形固定資産の取得による支出	△766
保険積立金の解約による収入	29,356
投資活動によるキャッシュ・フロー	186,133
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
リース債務の返済による支出	△12,126
自己株式の取得による支出	△30
配当金の支払額	△62,849
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75,007
現金及び現金同等物に係る換算差額	△346
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△20,592
現金及び現金同等物の期首残高	827,066
現金及び現金同等物の四半期末残高	806,473

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考」

前年同四半期に係る財務諸表等

## (1) (要約) 四半期損益計算書

区分	前年同四半期 (自 平成19年12月1日 至 平成20年8月31日)
	金額(千円)
I 売上高	2,322,615
II 売上原価	1,180,675
売上総利益	1,141,940
返品調整引当金戻入額	17,601
返品調整引当金繰入額	11,286
差引売上総利益	1,148,256
III 販売費及び一般管理費	1,050,885
営業利益	97,371
IV 営業外収益	20,927
V 営業外費用	1,577
経常利益	116,720
VI 特別利益	1,680
VII 特別損失	615
税引前四半期純利益	117,785
法人税、住民税及び事業税	52,167
法人税等調整額	7,776
四半期純利益	57,841

## 6. 販売の状況

当第3四半期累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	金額(千円)
フィッシング用品	
ルアー用品	422,134
フライ用品	426,547
その他フィッシング用品	174,377
小計	1,023,058
アウトドア用品	
アウトドア衣料	807,962
その他アウトドア用品	185,186
小計	993,149
その他	16,783
合計	2,032,991 (84,866)

(注) 1. ( )内は、輸出高であり、内数であります。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 第1四半期会計期間より、従来アウトドア衣料及びその他アウトドア用品として計上していた偏光サングラス及びルアーフィッシング用衣料を、その他フィッシング用品として計上しております。これによる影響額は、その他フィッシング用品は170,776千円増、アウトドア衣料は5,758千円減、その他アウトドア用品は165,017千円減であります。